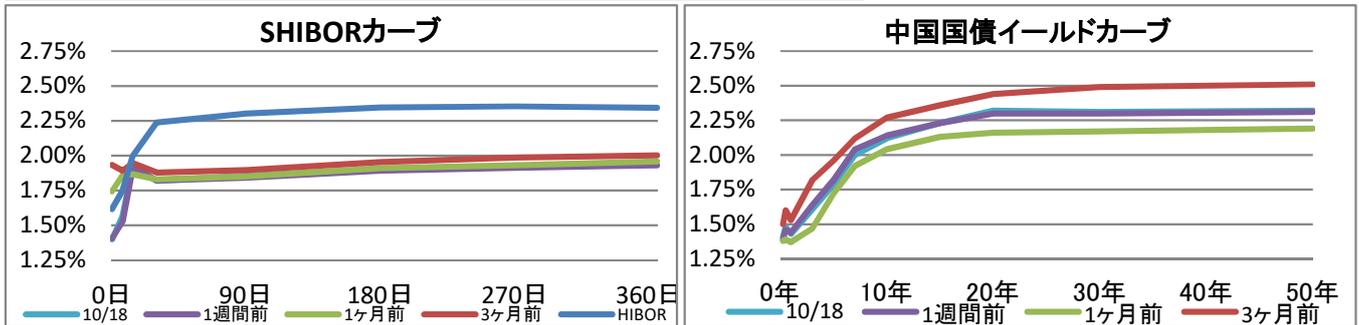


①市場概況

基準レート		2024/10/18	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1274	+0.0543
	JPY/CNY	4.7443	-0.0158
SHIBOR	3M	1.8580%	+0.0170%
国債利回り	10年	2.12%	-0.02%
上海総合指数		3,261.56	+43.82



(1) 概況

国際金融市場では、米国の雇用と景気、企業決算の底堅さに加え、原油価格の下落やECBの利下げ等によりソフトランディング期待が一段と高まり、米国株式市場は高値を更新し、債券利回りは高止まりし、外為市場では、ドル高傾向が続いている。

中国金融市場では、財政政策の不透明感に加え、不動産支援策の不十分さへの失望が広がる中、中国人民銀行等の株式支援市場策開始が伝わると株式市場は大幅に反発したものの、債券利回りは低下傾向を維持し、外為市場ではドル高を映じた7.12台から7.10台に元の下落幅を縮小する展開となった。

中国では、習主席が、第4四半期の経済運営の全力推進による経済成長目標達成を指示し、李強総理はベトナムでの首脳会談や上海協力機構会議でのロシア首相との会談で経済貿易関係強化等への期待を示した。財政部長は、財政赤字の拡大余地に言及も具体額等は示さなかったが、住宅都市農村建設部長等は、優良な住宅開発案件への銀行融資促進制度拡充を、国家金融監督管理総局幹部等は、中小零細企業の資金繰り支援強化措置等を打ち出した。中国人民銀行潘行長は、北京の金融フォーラムで最優遇貸出金利(LPR)の0.2~0.25%の引き下げに言及し、日中韓中銀総裁会合で経済・金融情勢につき意見交換し、同行等は、株式市場支援の「証券、ファンド、保険会社とのスワップファシリティ(SFISF)」を開始し、上場会社の自社株買い、主要株主の株式買い増しに対する再貸出制度を設立。なお、大手国有銀行は、既存の住宅ローン金利引下げや預金金利の引下げを公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,469億元、MLF期日7,890億元、中央国庫現金管理商業銀行定期期日700億元に対し、リバースオペ9,712億元を実施し、2,347億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・CPI(9月)は、前年比+0.4%(8月、同+0.6%)と、エネルギー価格を主因に減速(前月比+0.0%、8月+0.4%)。
- ・PPI(9月)は、前年比-2.8%(同、-1.8%)と、原材料価格の下落により下落幅拡大(前月比-0.6%、8月-0.7%)。
- ・GDP(3Q)は、前年同期比+4.6%(2Q、同+4.7%)と、不動産業や製造業の減速を主因に前期対比で伸びが低下し、名目GDP(同+4.0%)が下回る状況が続いた。1~9月は前年同期比+4.8%と政府目標(+5%前後)水準を若干下回った。
- ・鉱工業生産(9月)は、前年比+5.4%(8月、同+4.5%)と5ヵ月振りの伸び。不動産市場低迷を背景にセメントは大幅なマイナスが続いたが、自動車、鋼材関連はマイナス幅を縮小し、輸出駆け込み等から携帯電話、太陽光電池等は伸びを高めた。
- ・小売売上高(9月)は、前年比+3.2%(8月、同+2.1%)と4ヵ月振りに3%台に回復。飲食は前年比+3.1%(8月、同+3.3%)と伸びが低下し、宝飾品等の減少は続いているが、自動車が買い替え促進策によりプラス転化したほか、家電・AV機器(9月、同+20.5%)や新機種販売によるスマホ等の通信機器(9月、同+12.3%)が高い伸びとなり、全体を押し上げた。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3990%	1.4600%	1.4000%	
1W	1.5680%	1.8700%	1.6000%	1.6500%
2W	1.9260%	1.9260%	2.0000%	1.6800%
1M	1.8180%	2.0000%	1.9200%	1.8000%
3M	1.8580%	2.6000%	2.0500%	1.9100%
6M	1.9030%			1.9300%
9M	1.9210%			1.9400%
12M	1.9320%			1.9400%

中国人民銀行の調節は資金吸収となったものの、市場の資金需給に問題なく、金利水準も年末越えとなる3ヵ月超の金利水準は高止まりしているが、総じて安定推移。ターム物は、1ヵ月が1.9%台で取引されているものの、出合いは限定的。

NCD市場も安定しており、ターム物の金利水準は、年内が1.8%前後で、3ヵ月以降は1.9%台前半での取引が続いている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	4.85%	4.86%
1W	4.88%	4.90%
1M	5.00%	5.05%
3M	5.05%	5.10%
6M	4.80%	4.85%
12M	4.50%	4.60%

中国国内市場では、ターム物の出し手は限定的ながら、ターム物は1ヵ月から3ヵ月までが5.0%台で取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.41%		1.90%	1.97%	2.26%
6M	1.48%		1.91%	2.00%	2.29%
1Y	1.43%	1.63%	1.96%	2.02%	2.31%
3Y	1.61%	1.80%	2.05%	2.15%	2.48%
5Y	1.79%	1.96%	2.14%	2.23%	2.64%
10Y	2.12%	2.27%	2.34%	2.47%	3.03%

米国債券市場は、原油価格の下落や半導体を中心とする株式の下落から反発（利回り低下）していたものの、大統領選挙戦見通しの変化に加え、堅調な経済指標や企業決算により株式市場が最高値を更新すると上昇幅（利回り低下幅）が縮小に転じ、利回りは前週末比小幅低下。中国債券市場では、インフレ率の低下等を背景に、増発懸念はあるものの国債利回りは小幅低下。この結果、10年米国国債利回りは4.08%（前週末比-2bp）と低下に転じ、10年中国国債利回りは2.12%（同-2bp）に小幅ながら一段と低下し、利回り差は196bp（同±0bp）で変わらず。

中国債券のイールドカーブは、インフレ率や原油価格の低下を材料に低下傾向が続く中で、増発懸念から利率債に比して信用債に買いが集まり、クレジットスプレッドは、信用債利回りの大幅反落により大幅な縮小に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-183.0 / -182.0
3M	-520.0 / -519.0
6M	-1,007.0 / -1,005.0
9M	-1,498.0 / -1,496.0
12M	-1,977.0 / -1,974.0

対ドル基準レートは7.1274と前週末比+543pipsのドル高元安、対円基準レートは4.7443と-158pipsの円安元高と、ほぼ市場実勢水準での設定が続いている。中国国内市場では、金利差を背景とするドル高により7.12台半ばまで元安が進んでいたものの、18日（金）に中国人民銀行が株式市場支援策を開始したことを受けて元の買戻しが入り、7.10台に下落幅を縮小して週末を迎えている。

先物は、米大統領選挙見通しや堅調な米国経済を背景とする金融緩和ペースが緩やかなものになるとの思惑から、金利差拡大期待の高まりと投資資金流入の減少等により、1年物は前週末の-1800台前半から-1900台後半までディスカウント幅が拡大。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.91%		1.60%
6M	1.80%	1.83%	1.60%
9M	1.74%	1.78%	1.50%
1Y	1.69%	1.74%	1.50%
3Y	1.64%	1.71%	1.60%
5Y	1.75%	1.80%	
7Y	1.85%	1.89%	
10Y	1.94%	1.98%	

金利スワップ市場は、中長期を中心に金利水準が低下する格好で、前週からのフラットニングが続いているものの、変動幅は限定的で、スワップスプレッドに変化はない。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。